執筆者紹介

高橋良行（教育・總合科學學術院教授）
大森信德（法學學術院准教授）
辻リン（法學學術院准教授）
李家橋（關西大學修士課程在學中）
張宇博（博士後期課程在學中）
楊駿驍（博士後期課程在學中・日本學術振興會特別研究員（DC2））
中司梢（麗澤大學外國語學部助教）

編集後記

◇『中國文學研究』第四十五期をお届けする。今期は、言語學から、古典詩文、小説・戯曲、さらには現在のサブカルチャー・映畫におよぶ多彩な論文七篇を掲載することができた。「古今兼學、語文雙修」の醍醐味を存分に味わっていただきたい。

◇また、『集報』には中文歴史プロジェクトの第一彈として、杉本達夫名譽教授と編集部の座談會の一部を收録している。あわせてお樂しみいただければ幸いである。同プロジェクトでは草創期から現在に至るまでの卒業生に、幅廣くお話を伺いたいと考えている。座談會・インタビュー・講演などさまざまな企畫を豫定しているので、ぜひ會員のみなさまのご協力をお願いしたい。また、ご意見やアイデアがあれば、氣輕に編集部までお寄せいただきたい。會員諸兄のご協力を得て、實りあるプロジェクトにしていければ、と思う。

◇中文學會をめぐる状況は年々嚴しくなっている。大學からの補助は削減が續き、會費收入も頭打ちで、『中國文學研究』の發行は薄氷を踏んで維持している。稲畑耕一郎教授・古屋昭弘教授ご退職後、中國語中國文學コースの專任教員は補充できていない。重要な領域のスタッフが缺けたことで、學會の運營にも影響が出ている。ご投稿いただいた論文の査讀は、これまで以上に會員の協力を仰がざるを得ない状況である。大會の學術報告も、大學院生だけでなく、會員諸兄に一層のご參加をお願いせざるを得なくなっている。ご負擔をおかけすることになり恐縮の至りだが、會員諸兄のご協力を仰いで學會を盛り上げていきたいと願っている。よろしくお願い申し上げる次第である。

◇本稿執筆時點で、中國の新型コロナウィルス肺炎は擴散の一歩をたどり、WHOが緊急事態を宣言する状況になっている。學生の研修や留學、會員諸兄の渡航にも影響が出ている。中國の家族や友人の安否が氣がかりな方も多いだろう。安心して往來し、手を携えて研究・教育を進められる日が一日も早く戻ることを願ってやまない。

（不肖生）

中國文學研究　第四十五期　2019年12月25日　發行

□編集發行者　早稲田大學中國文學會　〒162-8644　東京都新宿區戸山 1-24-1
早稲田大學文學部中國語中國文學研究室內　□印刷所　正文社
wasedaunichubun@gmail.com
ISSN 0385-0919 振替東京 00140-5-22836